

国語科学習指導案

千葉市立生浜西小学校
指導教諭 四ノ宮 友希

1 単元名 つながりをつめいしよう

「すみれとあり」(読む)

～リーフレット作りを通してすみれとありのつながりを読み取ろう～

2 単元の目標

○すみれとありのつながりに関心をもって読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)

○問いと問いを解明する過程の時間的順序や問いの答えを考えながら、文章を読むことができる。
(読む能力)

○すみれとありのリーフレット作りを通し、文章の内容の大体を理解してわかったことや感想を書くことができる。
(読む能力)

○文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。(言語についての知識・理解・技能)

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・すみれやありについて興味をもち、知っていることや学習したことを話そうとしている。	・問題事象と問題を受けて、すみれの種が時間の経過とともに変化していく様子、ありとのかかわりに気を付けながら、すみれが仲間を増やしていく仕組みを読んでいる。(イ) ・すみれとありのリーフレット作りを通し、文章の内容の大体を理解してわかったことや感想を書いている。(エ)	・文の中における主語と述語との関係に気を付けて文章を読んでいる。(イ(カ))

4 単元について

(1)単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、「すみれとあり」を読み、「リーフレット作りを通して、すみれとありのつながりを読み取る。」を言語活動とする。すみれが意外な場所に咲いていることを問題事象として、筆者の投げかける問題をつかんでいく。そして問題解明に向けて、すみれが種を飛ばす過程やありが種を運ぶ過程を順序に気を付けて読み取っていく。それを踏まえて、問題に対応する答えを文章の中から見つけ、すみれとありのつながりに気付くことができるようにしたい。

本教材は、1年生下巻の「はたらくじどう車」を受けての説明的文章である。1年生の教材とは異なり、文章の初めに書かれている問いの答えがすぐには示されず、問いを解明していく過程を経て文章の終わりに書かれている。問いを解明していく過程である、すみれが種を飛ばす様子やありが種を運んでいく様子を順序よく読み取り、問題と答えとの対応を捉えることができるようにしたい。

また、次単元である「図書館で本をさがそう」では、本単元で興味を持ったことや不思議に思った

ことを調べたり、すみれやあり以外の動植物に関心を持って読書したりできるようにしていきたい。そこで本単元の始めに「たんぽぽ」を読み聞かせし、たんぽぽが綿毛を飛ばすまでの過程や綿毛と風とのつながりについて話し合い、すみれの変化やすみれとありとのつながりを読み取るきっかけとしたい。そして、すみれとありの学習を進めながら、他の動植物の本を読み聞かせしたり、読ませたりする時間をとることで動植物への知的好奇心を喚起したい。

(2)本単元で身に付けさせたい力

本教材のような説明的文章においては、順序性を捉えて論理的思考力を育てることや、情報を求めて読むことで事象への知的好奇心をもたせることができるようにしたい。そこで本単元では、「順序に気を付けてすみれとありのつながりを読み取り、リーフレットにまとめる」ことを単元の学習課題として設定する。リーフレットとは一枚の紙の中に情報をまとめるものなので、事柄の順序を簡潔に押さえ、関連のある二項目の関係を読み取って情報をまとめるのに適していると考え。単元を通したリーフレット制作を通して、すみれの変化やありの行動、種の様子の変化を時間的順序に気を付けて押さえ、すみれとありのつながりを読み取っていききたい。

まず、写真と文章を対応させながら本文を読み進め、出来事を時系列に整理して捉えられるようにしていく。写真をよく見ながら読み進めることで、花、実、種、白いかたまりの違いをはっきりとさせつつ、どれもすみれの一部であり形が変わっていく流れを押さえられるようにしたい。

説明文にまとめる際には、順序を表す言葉の必要性に気付かせ、適切な言葉を補いながら主語と述語の関係に気を付けて簡潔にまとめられるようにしたい。まとめた文の中の順序を表す言葉、主語、述語には色を付けて確認できるようにしたい。

また、教科書の写真や文章をもとにすみれが種を飛ばす様子や、ありが種を運ぶ過程の絵を描かせることで、すみれとありへの知的好奇心を喚起しすみれとありの共生関係を読み取ることができるようになりたい。そしてそれらを踏まえて、最初に筆者が投げかける問いに対する答えを最終段落から読み取り、すみれとありとのつながりをまとめていききたい。

また、わかったことや不思議に思ったことを書く面を作り、毎時間の終わりに書き込むことができるようにする。学習が進むにつれて、不思議に思っていたことを解決させわかったことを書き込むことができるようにしたい。

そしてリーフレットの裏側には保護者からのコメント欄を設け、できあがったリーフレットを見せながらすみれとありのつながりを説明するように促したい。

(3) (1)(2)の基盤となる言語環境や継続的な取組

本学年では、千葉市の図書館から借りた植物や生き物に関わる本を集めて、「生き物ミニ図書館」を設置した。本学級の児童は、すみれやありだけでなく色々な動植物について書かれた本を読むことで、科学的な本を読むことに慣れてきた。また、本を読み終わったら読書カードに感想を書くことで、写真や絵を見るだけでなく書かれている文章の内容の大体を読み取ることを目指している。また、事物の仕組みなどについて書かれた本を読み聞かせ、説明的文章に慣れるとともに知的好奇心を引き出すことができるようにしている。

5 児童の実態 (略)

6 指導計画(7時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点 ◇評価
一	1	○「たんぽぽ」の読み聞かせを聞き、たんぽぽがどのように花を咲かせるのかについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・本の絵を掲示し、たんぽぽの綿毛が風に乗って運ばれる過程をつかむことができるようにする。 ・わかったことや初めて知ったことを書き、話し合うように促す。
	1	○「すみれとあり」の①～③を読み、筆者が投げかけている問題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真などの掲示物を見ながら、知っていることを話し合えるようにし、『すみれとありリーフレット』を作る」という学習の見通しがもてるようにする。 ・問題の文を書き、読みのめあてをつかむことができるようにする。 <p>◇写真をもとに文章の内容と自分の経験を結び付けて、考えを話し合おうとしている。 (発表・リーフレット)</p>
二	1	○「すみれとあり」の④～⑥を読み、すみれが花を咲かせてから種をとばすまでの過程を順序に気を付けて読み取り、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文を対応させ、すみれが実を付けてから種を飛ばすまでの過程を順序よく読み取ることができるようにする。 ・教科書を音読させながらキーワードを押さえてリーフレットに書き込むように促す。 ・すみれが種を飛ばす様子を絵に描かせ、それを基にしてどのように種が飛び出すかを話し合うことができるようにする。 ・すみれの変化についてわかったことや不思議に思ったことを書く。 ・たんぽぽの綿毛が風に乗って運ばれる過程を想起させ、すみれの場合と比較できるようにする。 <p>◇すみれが種を飛ばす過程を順序に気を付けて読み取ることができる。 (発表・リーフレット)</p> <p>◇すみれについてわかったことや感想を書くことができる。(発表・リーフレット)</p>

2 本時 (2/2)	○「すみれとあり」の⑦～⑨を 読み、ありがたねを運ぶ過程 を順序に気を付けて読み取 り、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵と文を対応させ、ありが種を見つけ、運んで、捨てた過程を順序よく読み取ることができるようにする。 ・教科書を音読させながらキーワードを押さえリーフレットに書き込むよう促す。 ・それぞれの場面の絵を描かせ、ありが種を運ぶ過程で白いかたまりがなくなったことをつかむことができるようにする。 ・たんぽぽの綿毛の運ばれ方を想起させ、すみれとありが共生関係にあることを押さえられるようにする。 ・すみれとありについてわかったことを書く。 <p>◇ありが種を運ぶ様子を順序に気を付けて読み取ることができる。 (発表・リーフレット)</p> <p>◇すみれとありのつながりを読み取ることができる。 (発表・リーフレット)</p>
三 1	○「すみれとあり」の⑩～⑪を 読み、筆者の問いかけている 問題の答えをつかみ、すみれ とありの関係について話し合 う。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に対応する答えとなる部分を教科書から見つけてリーフレットにまとめる。 ・すみれとありのつながりを白いかたまりに着目しながらまとめ話し合うように促す。 <p>◇すみれとありのつながりに気を付けながら、すみれが仲間を増やしていく仕組みを読んでいる。(発表・リーフレット)</p> <p>◇すみれとありのリーフレット作りを通し、文章の内容の大体を理解してわかったことを書いたり話したりしている。 (話し合いの様子・リーフレット)</p>

7 本時の目標と展開

(1)本時の目標

- ・すみれとありとのつながりに興味をもって、交流しようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- ・すみれとありのつながりを考えながら、ありが種を運ぶ様子を読み取ることができる。
(読む能力)
- ・主語と述語との関係に気を付けて文章を読んでいる。(言語についての知識・理解・技能)

(2)本時の学習活動

本時の学習では、ありが種を運ぶ順序を確認しながら種の様子の変化を絵に描き、すみれとありのつながりを読み取る。ありが種を捨てた時に白いかたまりがなくなっていることを押さえ、すみれとありの共生関係をつかむことができるようにしたい。

(3)本時の展開(6/7)

主な学習内容と活動	指導や支援の手立て(◆は評価)
<p>1 学習を振り返り、本時の学習の目当てを確認する。</p>	<p>○本文や前時に書いた説明の文を音読させ、本時の学習問題をつかむことができるようにする。</p>
<p>ありが種を運ぶ様子を絵に描いて、すみれとありのつながりを考えよう。</p>	
<p>2 それぞれの場面の絵を描く。</p> <p>① ありが種を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地面に落ちている種を見つける ・種には白いかたまりがついている <p>② ありが種を運ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巣の中へ運ぶ ・白いかたまりはついている <p>③ ありが種を捨てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しばらくしてから捨てる ・巣の外に捨てる ・白いかたまりはなくなる 	<p>○絵を描くときに気を付けることを、教科書の写真を見たり文を読んだりしながら押さえられるようにする。</p> <p>○ありの行動や種の様子の説明を書き込むように促す。</p>
<p>3 ペアの友だちと話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずありは白いかたまりがついている種を見つける。 ・次にありは種を自分の巣の中に運ぶ。 ・しばらくするとありは白いかたまりがなくなった種を巣の外に捨てる。 	<p>○絵を見せ合って、ありの行動や種の様子を伝え合うように促す。</p> <p>○友だちの話を聞いて、よいと思った絵や言葉、文は自分のリーフレットに書き足すように促す。</p> <p>◆すみれとありとのつながりに興味をもって、交流しようとしている。</p> <p style="text-align: center;">(国語への関心・意欲・態度)</p>
<p>4 全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありが種を捨てるからすみれは花をさかせる。 ・すみれの種に白いかたまりが付いているからありは種を運ぶ。 ・すみれとありは助け合って生きている。 	<p>○児童のリーフレットをテレビに映し、種の様子の変化を白いかたまりに着目して捉えられるようにする。</p> <p>○たんぽぽの綿毛と風のつながりを想起させ、すみれとありは共生関係にあることをつかむことができるようにする。</p> <p>○主語、述語に気を付けて教科書の文章を読むように促す。</p>

5 今日の授業を振り返る。

◆主語と述語との関係に気を付けて文章
を読んでいる。

(言語についての知識・理解・技能)

○話し合い活動を通してすみれとありの
つながりについてわかったことを書くよ
うに伝える。

◆すみれとありのつながりを考えながら、
ありが種を運ぶ様子を読み取ることが
できる。 (読む能力)